

☆ご意見への回答

(Q 1) 値上げの予定は？

(A 1) 今年度は、保有している在庫量と昨年の供給実績を踏まえて、別紙「南九州市指定ごみ袋について 第 3 表」に記載の数量を製作購入する予定です。その数量分が、不足する事態に陥らない限り、今年度中に値上げする予定はありません。

(Q 2) 仮に在庫不足になるのであれば、足りない分だけを作れば良いのではないか

(A 2) 物の単価を下げるには、大量生産が基本であると考えています。現に R 6 年途中までの旧町域毎で作成していたごみ袋よりも、統一後の現在の指定ごみ袋の方が単価減となっています。

(Q 3) 市販の透明袋・黒ビニール袋の使用も可能にすれば良いのではないか。

(A 3) 中身に何が入っているのか分からない黒ビニールでのごみ出しは認めたくありません。理由は、焼却困難なものが処理施設において、誤って焼却炉に投入されたりすると施設の損傷や故障につながる等の可能性が高まるためです。また、処理施設は、近隣市と協力して一部事務組合で共同運用しています。近隣市とも調整が必要となります。

また、現在はビニール袋の製造に必要なナフサ等の原料不足・調達が難航している状況です。透明袋も製造が難しい状況に変わりありません。また、多くの市販ビニール袋と指定ごみ袋とでは、袋強度が異なりますので、袋の破損も懸念されます。

(Q 4) 買いに行った店にごみ袋が無かった？どこに行けば、購入可能か？

(A 4) 市ホームページ／くらし・手続き／南九州市指定ごみ袋についてに掲載している「ごみ袋取扱い店舗一覧」でご確認ください。

(Q 5) 購入時の制限をすべきではないか？

(A 5) 必要最低限度購入にご協力をお願いします。

(Q 6) 不足気味なのであれば、もっと大量に作れば良いのでは？

(A 6) 現在は、テレビ・新聞報道などでおわれているとおり、原油やナフサ等のビニール袋製造に必要な原材料価格が高騰している状態です。そのような時に製作されたビニール袋は、これまでよりも高額になります。高額なものを購入したら、高額で販売することに繋がります